理論懇ニュース　　１９９６年2号

発行: 理論天文学懇談会事務局　　(茨城大学理学部物理)
電話: ０２９ー２２８ー８３５４　　ファックス: ０２９ー２２８ー８４０７
e-mail: yoshidat@mito.ipc.ibaraki.ac.jp
１９９６年4月３０日

⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕⊙⊕

理論懇運営委員会、理論懇総会

神戸大学で行われた天文学会春期年会の際、理論懇運営委員会(３月２８日)と総会(２９日)が開かれました。

主な報告事項と審議事項は以下の通りでした。

1. 報告事項

(a) 事務報告

- 「日本の理論天文学」発送について
  ３月末までに全会員に発送を終えました。複数の会員がいらっしゃる大学・研究所には、こちらで適当に決めた代表者の方にお送り致しました。もし、まだ受け取っていない方や残部(約80部)がほしい方がいらっしゃいましたら、事務局までご連絡ください。
- 「大学・研究所の談話会への講師派遣」について
  前回のニュースでご報告した二件に関して、１泊２日の交通費と宿泊費を文部省の基準に準拠して支給しました。合計99,876円でした。

(b) 京大基礎物理研究所からの報告

京大基研・横山氏より以下のような報告がありました。

- COEに指定されて一年が経過しました。
- １９９６年度COE研究員３名が理論天文、素粒子、物性分野から各１名採用されました。
- 共同利用高速計算機の導入が決まり、準備中です。
- 北白川学舎の一部改修を前向きに検討中です。
- 研究部員会議構成員の半減案が正式に認められ、理論懇からの推薦は４名から２名となりました。これに伴い毎年２名改選から、隔年２名改選に変更され、今期は選挙を行わないことになりました。

(c) 国立天文台からの報告

国立天文台・観山氏より以下のような報告がありました。

- 計算機共同利用について
  ４３件(１００人以上)の申請があり、６人のレフェリーが採点を行い点数により時間を配分しました。結果はすでに申請者に連絡され４月２２日より運用が開始されました。計算機の旅費申請の結果は、追ってお知らせします。申請者が滞在中はセンターの机、端末を専有して頂いて結構です。

- 各種委員の改選について
  １１月に各種委員の改選が行われます。理論懇から選出して推薦するのは、運営協議会 (天文台の人事の決定等) と理論 ・計算機専門委員会 (理論グループ ・計算施設の共同利用等) の委員です。７月頃に理論懇で選挙を行います。
- 人員長期計画について
  天文台で人員長期計画が検討されています。天文計算科学研究系の中に、シミュレーション天文学、計算機科学、データベース部門の新設が検討されています。

(d) 次回理論懇シンポジウム

千葉大 ・松元氏より、次回の理論懇シンポジウムは１２月１６日から１８日まで千葉大学のけやき会館で、 「大型観測装置時代における理論天文学の役割」というテーマで開催する予定であることが報告されました。LOC は、山下氏、松元氏、宮路氏 (千葉大) で、SOC は須藤氏 (東大)、千葉氏、犬塚氏 (天文台) です。

2. 審議事項

(a) 理論懇会費収入からの理論懇シンポに関わる旅費等の援助について

理論懇シンポに関わる費用としては、シンポでの講師招待旅費、参加者への旅費援助、集録の印刷代があります。この費用は主に国立天文台や京大基研、科研費によって援助を受けています。これらの援助で不足が生じた場合、理論懇会費で補ってはどうかということが、今回話し合われました。その結果、そういう事態が起きた時は、運営委員会、事務局、シンポ世話人で相談して額を決定し、総会で了承 (事後了解でも良い) を受けるという手続きを踏んで会費から支出できるということが決定されました。

(b) 理論懇WWWにおける会員データの公開について

理論懇WWWワーキンググループ (花輪氏、和田氏、梅村氏) により、ホームページの作成が進められています。主な項目は、概要、組織、活動、構成員、研究機関紹介、会員登録となる予定です。この中の構成員の項目で、個人データをどこまで公開するかが話し合われ、基本方針として以下のことが決まりました。

会員名簿に記載されている個人データのうち氏名、所属、住所、電話番号、FAX 番号、e-mail アドレスについては、特に本人からの希望がない限りすべてを掲載します。但し、このWWW上の名簿にアクセスできるのは理論懇会員だけにするために、パスワードを必要とする設定にします。また、会員各自が自分のホームページにリンクを張りたい場合は、ワーキンググループに申請することとします。

(c) 理論懇ニュースへの研究所 (国立天文台 ・京大基研) 関連の記事依頼について

共同利用研究所である国立天文台 ・京大基研で行われている会議等の話題の理論懇ニュースへの記事投稿は，今までは一部の所員の方に自発的に行っていただいていました。しかし、共同利用研究所の存在意義をもっとみなさんに認識してもらい、また大いに共同利用研究所を利用していただくためにも普段から研究所の活動についてもっと知っておいてもらう必要があると思われます。そこで、国立天文台と京大基研での会議やセミナー等様々な話題についての記事を理論懇ニュースに頻繁に投稿していただくよう、次の様な方々に理論懇から正式に依頼してはどうかということが提案され、話し合われました。その結果、会議の話題はなるべく毎回理論懇が選挙で選出した代表者に、また研究所の活動報告 (研究会、セミナー、visitor 制度) や各種委員の選挙については所員の方に依頼することが決まりました。運営委員長が正式な依頼を行うことになりました。

3. 総会後の報告事項

第 8 回理論懇シンポジウム集録」を作るのにかかるお金が 113,300 円不足しました。総会

で決定されたことをふまえて、理論懇予算から支出することになりました。事後了解になりますが、会員の皆様には今回の支出の了解をお願い致します。

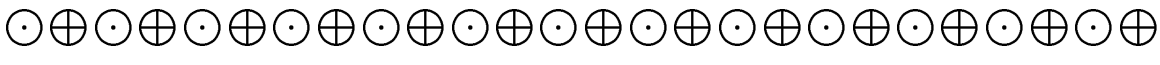
会費納入のお願い

１９９６年の会費のお支払いをお願い致します。同封致しました郵便振り込み用紙をご使用ください。年会費は、一般２０００円、学生１０００円です。また、皆様が会費のお支払い状況を確認して頂けるようにデータを同封致しました。ご確認の上、まだ支払われていない分がございましたら、９６年分とあわせて支払っていただくよう、よろしくお願い致します。

データの見方は次の通りです。

入会	12/10/90	(mm/dd/yy)	
会費	/ /	12/11/90	12/21/93
支払	12/21/93	12/21/93	03/25/94
	06/30/95	/ /	/ /

一行目が入会日で月(mm)/日(dd)/年(yy)の順で書かれています。二行目は、89、90、91年分の会費が支払われた日です。以下同様に三行目が92、93、94年分の、四行目が95、96、97年分の年分の会費が支払われた日となっています。入会した年以降の年で、日付が入っていないところは、その年の分の会費がまだ払われていないことを意味しています。但し、入会した日が９月以降である場合やその年海外留学中である場合は、その年の分の会費は免除されると考えていただいても結構です。



個人データ更新のお願い

今年度は新しい会員名簿を作成する予定ですので、皆様の氏名、住所、所属、電話番号、**FAX**番号、e-mailアドレスについて最新のデータを事務局までお知らせください。退会される方は、ご面倒でも事務局までその由ご連絡ください。現在のあなたのデータについては同封致しました紙片で、ご確認ください。もし、データを更新される場合は振り込み用紙の通信欄などで、事務局まで5月末日までにお知らせください。

また、このニュースでもお知らせしたように理論懇のホームページに名簿を掲載致します。名簿にアクセスできるのは会員だけにするために、パスワードが必要となるように設定する予定ですが、このWWW上の名簿にあなたのデータのすべて(入会日、支払い状況は除く)または一部を掲載することを不可とされる方は、必ず事務局までご連絡ください。

事務局では、会員の皆様にニュースやお知らせを選挙を伴う時を除いて、できるだけ電子メールかFAXで受け取っていただくようお願いしています。e-mailアドレスか**FAX**番号をお持ちの方は、この機会に事務局までお知らせくださるようお願い致します。